

(令和元年刊行)

ひらね119

(消防年報 概要版)



枚方寝屋川消防組合



ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

【2019年度全国統一防火標語】

「ひらね119」は、火災、救急、救助の活動をはじめとする消防の仕事を市民の皆さんにご理解いただくために、消防年報のダイジェスト版として編集したものです。本書が消防行政をご理解いただく一助になれば幸いです。

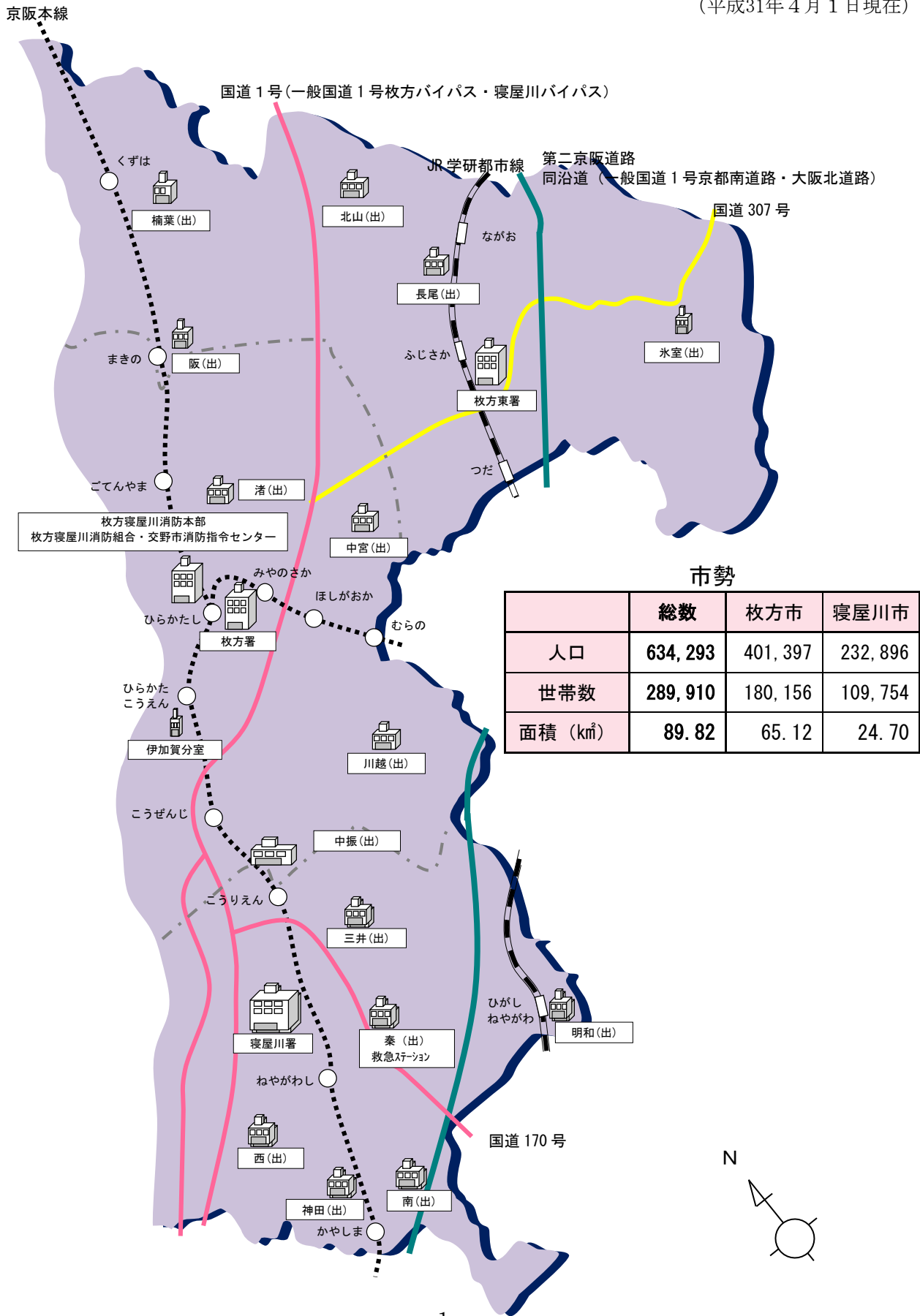
※なお、日付のないデータは、平成30年12月31日現在のものです。

目 次

1 管内図及び市勢	1	12 警 備	13
2 組 織	2	(1) 消防隊の活動状況	
3 消防歳出予算	3	(2) 消防水利	
4 消防庁舎	4	13 火災概況	15
5 平成30年中の主な活動記録 . . .	5	(1) 火災概況	
6 消防職員	6	(2) 月別火災件数	
7 消防車両	7	(3) 死傷者・損害状況	
8 防火対象物	8	(4) 過去10年間の火災発生状況	
(1) 防火対象物		(5) 出火原因	
(2) 消防同意		14 救 急	18
(3) 住宅防火診断		(1) 救急件数の動向	
9 危険物	10	(2) 救急活動状況	
10 査 察	11	(3) 救命率の向上	
11 119番等通報	12	(4) 「救急安心センターおおさか」	
(1) 119番等通報受信状況		(5) ドクターカー事業	
(2) 緊急通報システム		15 救 助	21
		16 消防団の概況	22

1 管内図及び市勢

(平成31年 4 月 1 日現在)



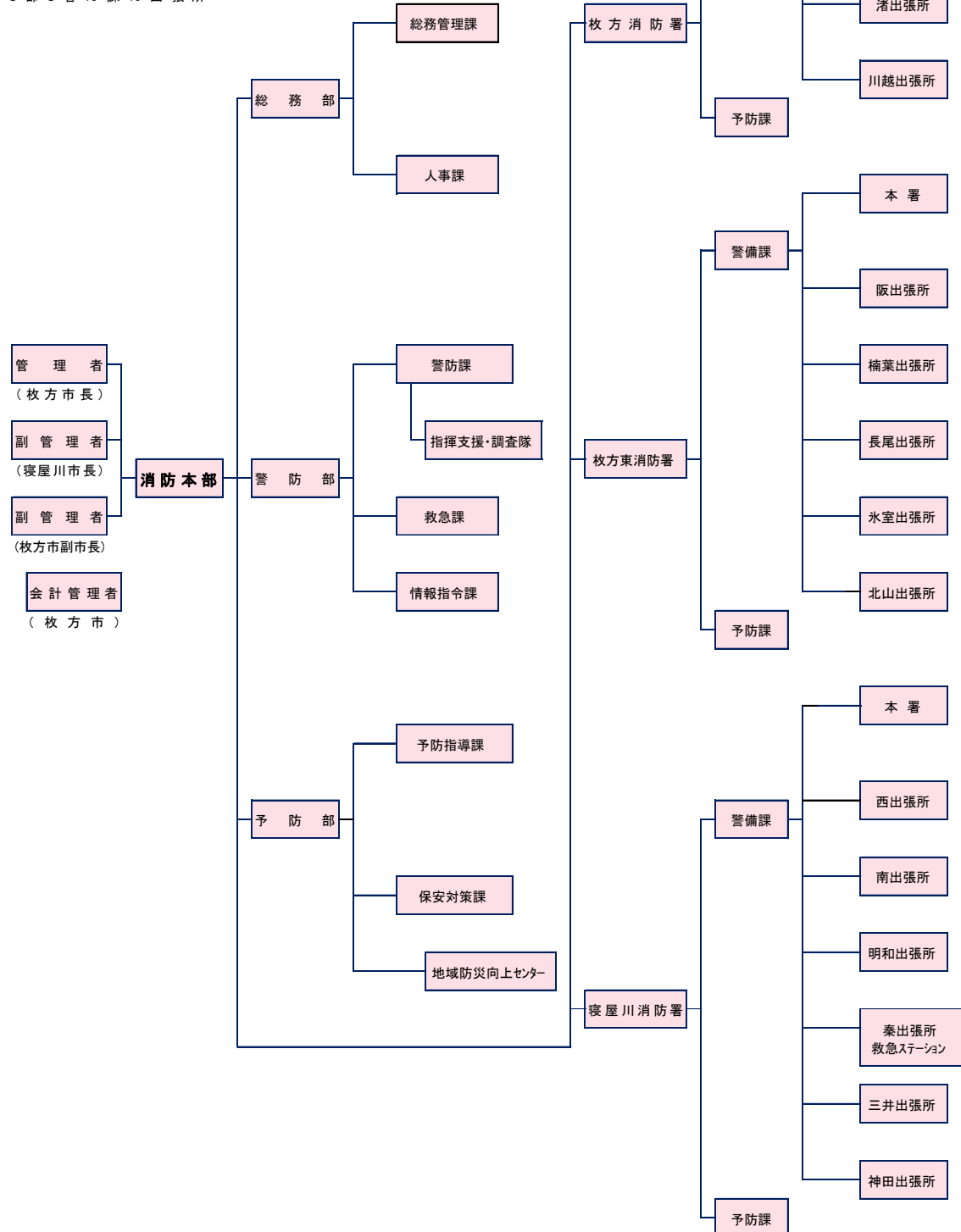
2 組

織

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

枚方寝屋川消防組合議会	
派遣議員	枚方市 9 名 寝屋川市 7 名
監査委員	2 名
公平委員会	3 名

3 部 3 署 13 課 15 出張所



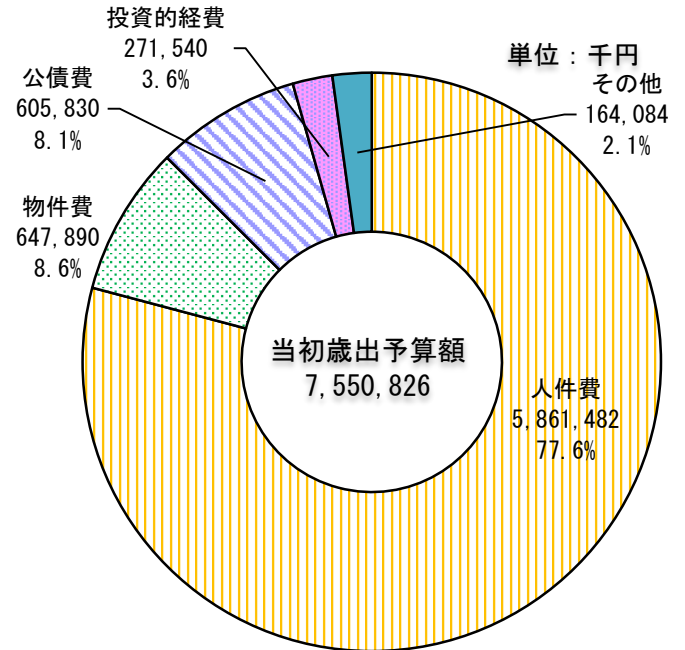
3 消 防 歳 出 予 算

平成 31 年度当初予算 75 億 5,082 万 6 千円

平成 31 年度は第 4 次将来構想計画最終年度（平成 32 年度）にむけて、これまでに取り組んできた事業内容及び実績に検証・評価を加え、「安全で安心して暮らせるまち」の実現に向けた事業を展開し、市民の期待と信頼に応えていくための予算編成となっております。

また、昨年 6 月に最大震度 6 弱を記録した大阪府北部地震をはじめ、西日本豪雨に伴う緊急消防援助隊の長期の派遣や、度重なる台風による自然災害を経験したことから、大規模災害対策を強化するため、無人航空機（ドローン）の導入や、非常用の救助工作車の整備等を行います。

歳出予算性質別比率



《主要事業》

- ・救急車（渚、氷室、南各 1 台）の更新
- ・救助工作車（寝屋川本署 1 台）の更新
- ・無人航空機（ドローン）の導入
- ・G20 大阪サミット警戒部隊資機材整備
- ・ラグビーワールドカップ 2019 警戒部隊資機材整備
- ・400Mhz 帯署活系携帯無線機整備
- ・はしご車オーバーホール



過去 5 年間の消防組合歳出予算・決算額

区 分 年 度		歳出予算・決算額 (単位：千円)	左記の財源内訳 (単位：千円)			人口 1 人当たりの 消防費 (単位：円) (当初予算で算出) (毎年 4 月 1 日の人口)
			枚方市負担金	寝屋川市負担金	その他収入	
平成 27 年度	当 初	8,065,736	4,338,466	2,913,885	813,385	12,479
	決 算	8,061,422	4,219,407	2,831,117	1,010,898	
平成 28 年度	当 初	7,695,481	4,376,522	2,805,808	513,151	11,958
	決 算	7,394,572	4,197,206	2,691,462	505,904	
平成 29 年度	当 初	7,980,465	4,628,658	2,988,455	363,352	12,455
	決 算	7,865,337	4,481,923	2,895,804	487,610	
平成 30 年度	当 初	7,540,099	4,411,907	2,858,108	270,084	11,827
	決 算	—	—	—	—	
平成 31 年度	当 初	7,550,826	4,354,682	2,826,602	369,542	11,906

4 消 防 庁 舎

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

区分 署所別	所在地（電話）	敷地面積（㎡）	構造・階数	建築面積 （㎡）	延面積 （㎡）	建築年月日
消防本部 枚方寝屋川消防組合 ・交野市消防指令 センター	〒573-1191 枚方市新町 1 丁目 7 番 11 号 Tel.072-852-9903（以下市外局番同じ） FAX852-9948（4 階）、852-9925（2 階）	1343.1	耐火造・地上 5 階	735.2	3038.6	平 28.1.22
伊加賀分室	〒573-0056 枚方市桜町 3 番 40 号	365.8	耐火造・地上 2 階	216.1	351.7	昭 56.12.14
枚方消防署	〒573-0027 枚方市大垣内町 2 丁目 10 番 22 号 Tel.072-852-9933、FAX852-9927	2099.5 別棟 ガレージ兼倉庫	耐火造・地上 5 階 耐火造・地上 2 階	587.0 235.6	2468.9 365.9	昭 46.1.18 昭 58.4.15
中宮出張所	〒573-0005 枚方市池之宮 3 丁目 4 番 28 号 Tel.852-9832、FAX852-9834	359.7	耐火造・地上 2 階	224.1	479.97	平 29.3.15
中振出張所	〒573-0094 枚方市南中振 1 丁目 16 番 30 号 Tel.852-9826、FAX852-9828	727.2	耐火造・地上 4 階・ 地下 1 階	420.1	1250.5	平 2.6.26
渚出張所	〒573-1175 枚方市上野 3 丁目 8 番 2 号 Tel.852-9829、FAX852-9831	700.0	耐火造・地上 2 階	418.7	791.3	平 6.3.1
川越出張所	〒573-0083 枚方市茄子作北町 7 番 22 号 Tel.852-9820、FAX852-9822	477.2	耐火造・地上 2 階	197.3	388.3	昭 53.4.1
枚方東消防署	〒573-0121 枚方市津田北町 2 丁目 23 番 3 号 Tel.852-9999、FAX852-9929	3255.6 主訓練塔 補助訓練塔 プールポンプ室	耐火造・地上 4 階 耐火造・地上 8 階 準耐火造・地上 5 階 耐火造・地上 1 階	636.9 36.4 26.1 16.1	1991.9 270.4 130.5 16.1	昭 61.4.1 昭 62.4.1 昭 62.4.1 昭 62.4.1
阪出張所	〒573-1144 枚方市牧野本町 1 丁目 10 番 34 号 Tel.852-9846、FAX852-9848	410.0	耐火造・地上 2 階	207.1	405.1	昭 54.6.1
楠葉出張所	〒573-1118 枚方市楠葉並木 2 丁目 29 番 1 号 Tel.852-9849、FAX852-9851	支所の一部使用 (501.8)	耐火造・地上 2 階	290.3	497.9	昭 50.5.6
長尾出張所	〒573-0163 枚方市長尾元町 2 丁目 13 番 6 号 Tel.852-9843、FAX852-9845	531.3	耐火造・地上 2 階	202.2	421.9	昭 56.10.24
氷室出張所	〒573-0113 枚方市宗谷 1 丁目 14 番 1 号 Tel.852-9840、FAX852-9842	474.0	耐火造・地上 2 階	253.5	457.2	昭 58.1.28
北山出張所	〒573-0171 枚方市北山 1 丁目 67 番 15 号 Tel.852-9824、FAX852-9825	1001.6	耐火造・地上 2 階	540.1	826.6	平 13.4.1
寝屋川消防署	〒572-0039 寝屋川市池田 2 丁目 11 番 73 号 Tel.852-9966、FAX852-9928	3260.9 車庫	耐火造・地上 4 階 耐火造・地上 1 階	835.9 34.02	2352.6 34.02	昭 46.1.18 平 21.3.24
西出張所	〒572-0063 寝屋川市春日町 20 番 22 号 Tel.852-9860、FAX852-9862	306.6	耐火造・地上 2 階	170.6	346.9	昭 56.5.1
南出張所	〒572-0823 寝屋川市下木田町 16 番 17 号 Tel.852-9866、FAX852-9868	421.2	耐火造・地上 2 階	235.1	426.6	昭 54.7.2
明和出張所	〒572-0862 寝屋川市打上宮前町 2 番 3 号 Tel.852-9869、FAX852-9871	519.0	耐火造・地上 4 階	295.5	789.1	平 9.3.22
秦出張所 救急ステーション	〒572-0848 寝屋川市秦町 2 番 5 号 Tel.852-9875、FAX852-9877	716.3	準耐火造・地上 1 階	239.2	237.5	平 25.4.1
三井出張所	〒572-0019 寝屋川市三井南町 25 番 2 号 Tel.852-9872、FAX852-9874	683.5	耐火造・地上 2 階	294.0	444.0	昭 50.5.23
神田出張所	〒572-0045 寝屋川市東神田町 22 番 6 号 Tel.852-9863、FAX852-9865	555.0	耐火造・地上 2 階	238.1	425.7	昭 52.6.1

5 平成30年中の主な活動記録

月 日	内 容	備 考
1 月 7 日	消防出初式	寝屋川市太間淀川河川公園
1 月 15 日～21 日	防災とボランティア週間	
1 月 26 日	文化財防火デー	
2 月 8 日	第 1 回消防組合議会全員協議会	本消防本部
2 月 8 日	消防組合議員行政視察	人と防災未来センター・大阪府立消防学校
3 月 1 日	定期監査（救急課、長尾出張所、中宮出張所）	
3 月 1 日～7 日	春季火災予防運動	
3 月 7 日	消防記念日・自治体消防制度 70 周年記念式典	両国国技館
3 月 29 日	第 1 回消防組合議会定例会	本消防本部
4 月 10 日	第 154 回大阪府下消防長会総会	ヴィアーレ大阪
4 月 23 日	第 65 回全国消防長会近畿支部総会	ホテル・アコーラ・リージョン堺
5 月 9 日	全国消防長会会計監査	東京都
5 月 30 日	第 70 回全国消防長会総会	東京都
6 月 3 日～9 日	危険物安全週間	
6 月 8 日	第 2 回消防組合議会定例会	本消防本部
6 月 8 日	大阪府危険物安全大会	KKR HOTEL OSAKA
6 月 18 日	大阪府北部を震源とした地震	
6 月 27 日	枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会総会	本消防本部
7 月 6 日～8 月 1 日	平成 30 年 7 月豪雨に伴う緊急消防援助隊派遣	広島県
7 月 12 日	第 2 回消防組合議会全員協議会	本消防本部
7 月 19 日	枚方寝屋川消防組合防火委員会総会	本消防本部
9 月 2 日	第 62 回大阪府消防大会・消防操法訓練大会	大阪府立消防学校
9 月 25 日	警防技術指導会に伴う本部大会	枚方東消防署
10 月 18 日	第 3 回消防組合議会全員協議会	本消防本部
10 月 25 日	第 67 回全国消防長会危険物委員会	静岡県富士市
11 月 1 日	全国消防長会役員会	徳島市
11 月 9 日、10 日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練	福井県福井市
11 月 9 日～15 日	秋季火災予防運動	
11 月 27 日	第 6 回大阪府下警防技術指導会	大阪市消防局高度専門教育センター
12 月 1 日～19 日	歳末警戒	
12 月 18 日	第 155 回大阪府下消防長会臨時総会	ヴィアーレ大阪
12 月 20 日～31 日	歳末特別警戒	
12 月 26 日	第 3 回消防組合議会定例会	本消防本部
12 月 28 日	管理者訓示	本消防本部

6 消 防 職 員

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

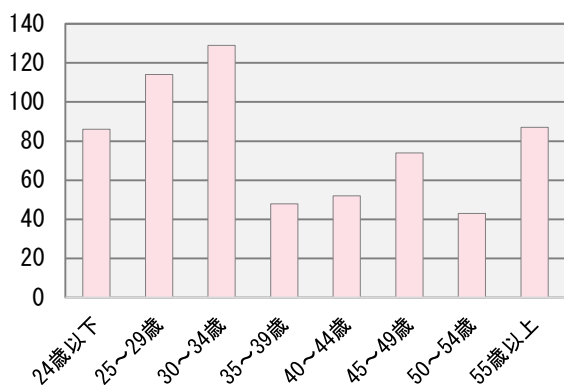
近年、消防を取り巻く環境は著しく変化し、市民の防災や安全に対するニーズもますます大きくなってきています。

我々、消防職員は、防災の担い手として一人ひとりが実務に精通し、幅広い知識と高度な技術、そして高い識見を持って、市民の負託に応えるために日夜、火災防ぎよ、救急、救助、予防、総務等の消防業務に取り組んでいます。

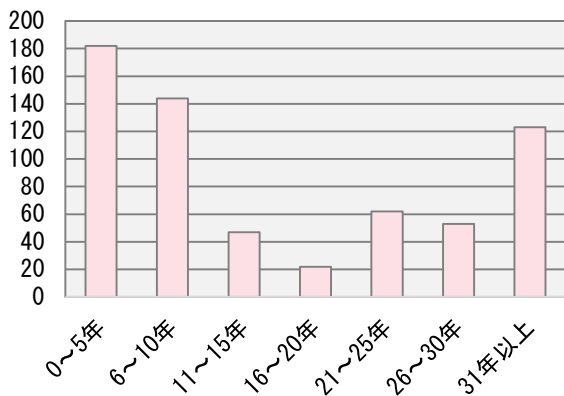
階級別職員数

総 数	消 防 吏 員									吏員以外 の職員	
	小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	小 計	事 務 員
635	633	1	7	32	93	147	173	2	178	2	2

年齢別職員数



勤続年数別職員数



所属区分別職員数

所 属 区 分				人数	
総 数				635	
消防本部	消防長			1	
	消防次長			1	
	総務部	部長		1	
		次長		2	
		総務管理課		8	
		人事課	派遣		21
			総務部付派遣		1
		警防部	部長		1
			次長		3
	警防課		日勤		4
			交替制		21
	救急課		4		
	情 指 報 令 課		日勤		2
			交替制		25
	予防部	部長		1	
		次長		1	
		予防指導課		7	
		保安対策課		6	
		地域防災向上センター		0	
	小計			119	
	枚方消防署	本署	日勤		14
交替制			47		
中宮出張所			15		
中振出張所			23		
渚出張所			25		
川越出張所			22		
小計			146		
枚方東消防署	本署	日勤		13	
		交替制		48	
	阪出張所			24	
	楠葉出張所			27	
	長尾出張所			22	
	氷室出張所			15	
	北山出張所			23	
	小計			172	
寝屋川消防署	本署	日勤		15	
		交替制		51	
	西出張所			24	
	南出張所			23	
	明和出張所			23	
	秦出張所救急ステーション			9	
	三井出張所			29	
	神田出張所			24	
小計			198		
勤務形態別		毎日勤務		115	
		交替制勤務		520	

※ 再任用職員を除く。

7 消 防 車 両

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

	総 計	消 防 本 部	伊 加 賀 分 室	枚 方 消 防 署	中 宮 出 張 所	中 振 出 張 所	渚 出 張 所	川 越 出 張 所	枚 方 東 消 防 署	阪 出 張 所	楠 葉 出 張 所	長 尾 出 張 所	氷 室 出 張 所	北 山 出 張 所	寝 屋 川 消 防 署	西 出 張 所	南 出 張 所	明 和 出 張 所	救 急 ス テ ー シ ョ ン	秦 出 張 所	三 井 出 張 所	神 田 出 張 所
総 計	114	26	0	11	2	3	6	3	13	3	4	3	3	4	16	2	3	4	2	3	3	
CD－I 型 ポンプ車	17	－	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	－	1	1	
非 常 用 ポンプ車	6	－	－	1	－	－	1	－	1	－	－	1	－	－	1	－	－	－	1	－	－	
高 規 格 救 急 車	17	－	－	1	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
非 常 用 救 急 車	6	－	－	1	1	－	－	－	1	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	1	
救助工作車 Ⅲ 型	3	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
Ⅲ 型 化 学 車	2	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
3 8 m級 梯 子 車	3	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	
1 5 m級 梯 子 車	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
遠距離大量 送排水車	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	
水 槽 車	2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	
可搬ポンプ 積 載 車	3	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
指 揮 車	4	1	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
指揮支援車	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
調 査 車	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
支 援 車 Ⅰ 型	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
支 援 車 Ⅱ 型	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
そ の 他	43	20	－	4	－	1	1	1	5	1	1	－	－	1	6	－	1	1	－	－	－	

※ その他には、査察車、広報車、事務連絡車、地震車等が含まれます。

8 防 火 対 象 物

(1) 防火対象物

防火対象物とは、消防法第1条の目的を遂行するために、消防法に一定の基準を定め、特定防火対象物（不特定多数の者が出入する施設。例えば、百貨店・病院・ホテル等）と非特定防火対象物（特定の者しか出入しない施設。例えば、学校・事務所等）に大別され、それぞれの規模等により消防設備等（消火器・自動火災報知設備等）の設置や防火管理者が必要な建物です。

管内防火対象物の事業所数

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署
総 数			15,777	9,454	5,338	4,116	6,323
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	6	5	5	-	1
	ロ	公会堂・集会場	342	221	116	105	121
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	56	35	30	5	21
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	0	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	3	2	2	-	1
3	イ	待合・料理店等	2	1	1	-	1
	ロ	飲食店	372	217	132	85	155
4		百貨店・マーケット等	557	337	160	177	220
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	55	44	9	35	11
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,105	3,663	2,257	1,406	2,442
6	イ	病院・診療所・助産所	234	145	85	60	89
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	259	157	79	78	102
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	387	221	114	107	166
	ニ	幼稚園・特別支援学校	57	40	17	23	17
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	651	393	222	171	258
8		図書館・博物館・美術館等	5	4	3	1	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	-	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	15	4	3	1	11
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	14	11	6	5	3
11		神社・寺院・教会等	176	111	59	52	65
12	イ	工場・作業場	1,283	729	280	449	554
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	391	232	166	66	159
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	-	-	-
14		倉庫	883	520	225	295	363
15		前各項に該当しない事業所	1,587	1,017	598	419	570
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	1,378	826	464	362	552
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	945	507	304	203	438
16の2		地下街	0	0	-	-	-
16の3		準地下街	0	0	-	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	12	12	1	11	-
18		延長50メートル以上のアーケード	2	0	-	-	2
19		市町村長の指定する山林	0	0	-	-	-
20		総務省令で定める舟車	0	0	-	-	-

(2) 消防同意

消防同意は、建築物の設計段階から防火面に関与し、必要に応じ現地調査を実施し、建築物の位置、構造及び設備のほか、防火に関する安全性の確保を図ることを目的としています。

平成 30 年中の消防同意件数

市 別 区 分		総 数	防 火 対 象 物			一 般 住 宅 等		
			小 計	枚方市	寝屋川市	小 計	枚方市	寝屋川市
総 数		1,600	359	212	147	1,241	608	633
工 事 別	新 築	1,493	252	142	110	1,241	608	633
	増 築	88	88	56	32	0	－	－
	用途変更	13	13	12	1	0	－	－
	その他	6	6	2	4	0	－	－

※ その他には改築、修繕、移転、模様替等の件数が含まれます。

(3) 住宅防火診断

各家庭に対し火気使用設備の使用実態、消火器等の住宅用防災機器等の設置状況等を診断し居住者の防火意識の高揚を図り、住宅の防火を推進することを目的に住宅防火診断を実施しています。

住宅防火診断実施状況

年度 署別	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
総 数	2,840	3,217	3,451	2,922	2,885
枚 方 署	897	1,020	953	901	829
枚方東署	1,033	1,100	1,368	981	1,010
寝屋川署	910	1,097	1,130	1,040	1,046

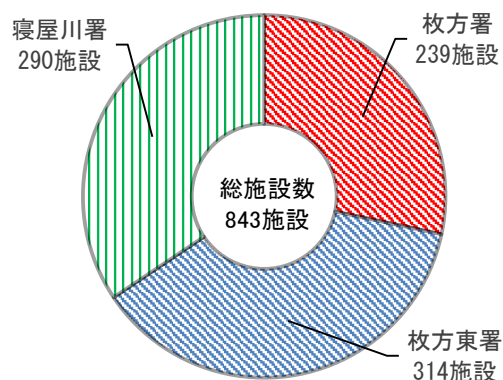
9 危 険 物

危険物規制事務は、主に危険物施設の許認可申請に係る事務とそれに伴う検査や各種届出事務及び危険物の取扱いに関する指導を行っています。

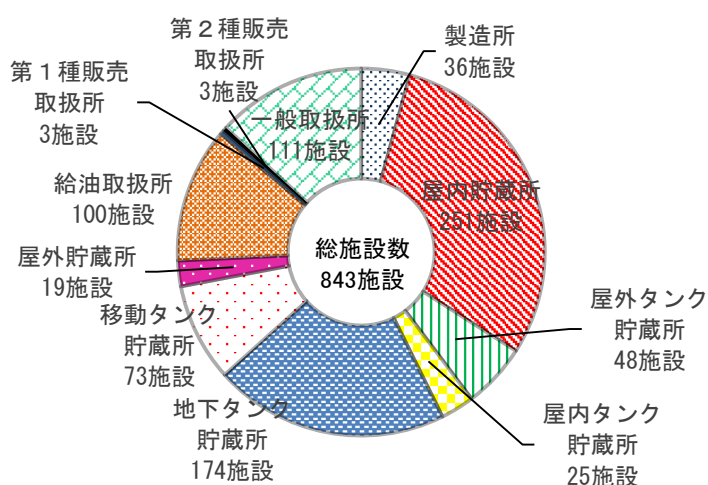
あらゆる生活分野に深く浸透している石油製品に代表されるように、危険物は現代社会生活に欠かすことのできない大きな貢献をしている反面、ひとたび取扱いを誤れば、火災や爆発等の甚大な災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

これらの危険物に起因する事故や災害を未然に防止し、市民生活の安全を確保するため、厳正な法令等の執行とともに、事業所の地域社会との協力関係の強化等を含めた自主保安管理体制の確立と関係者の防災意識の向上に努めることが重要です。

管轄署別施設数



区分別施設数



許認可事務処理状況

区 分 署 別	総 数	製造所等															仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		
		許 可		完成検査		仮 使用 承認 申請	完成 検査 前 検査	再 完成 検査 済 証 等 申 請	廃 止 届	譲 渡 引 渡 届	品 名 数量 又は 指定 数量 の 倍 数 変更 届	軽 微 な 変 更 届	選 任 ・ 解 任 届	危 険 物 保 安 監 督	予 防 規 程 認 可 申 請	作 業 従 事 者 届		危 険 物 取 扱	そ の 他
		設 置 許 可	変 更 許 可	設 置 許 可	変 更 許 可														
総 数	1,494	11	157	18	148	143	44	4	17	5	19	276	99	5	48	487	13		
枚 方 署	792	4	74	12	66	66	2	2	7	0	5	159	42	3	19	327	4		
枚方東署	320	4	36	4	35	31	9	2	7	1	9	51	22	－	15	89	5		
寝屋川署	382	3	47	2	47	46	33	－	3	4	5	66	35	2	14	71	4		

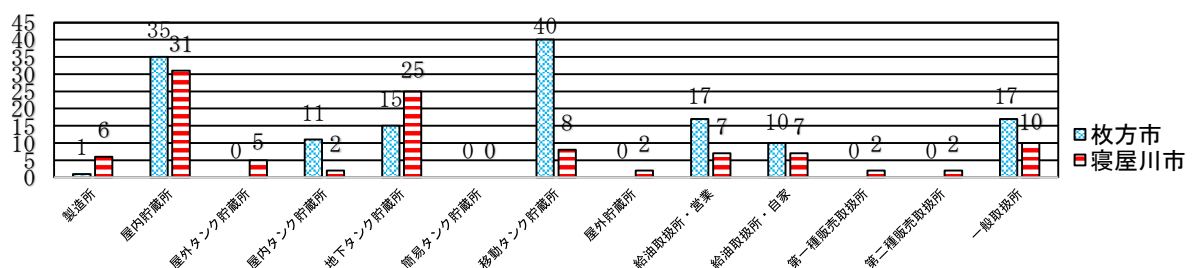
※ その他には、危険物製造所等の氏名、名称、住所変更届、危険物製造所等における火気使用工事届等の事務処理状況が含まれます。

査察とは、火災を未然に防止し、火災による被害の軽減を図るため、当該防火対象物及び危険物施設への立入検査を行い、火災予防上の不備事項を指摘し、関係者に対して必要な指示、指導を積極的に行うものです。

用途別査察実施状況

防火対象物区分			市別	組合合計	枚方市	寝屋川市
総 数				2,489	1,474	1,015
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場		0	-	-
	ロ	公会堂・集会場		113	75	38
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等		0	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール		24	8	16
	ハ	風営法に規定する店舗その他これらに類するもの		0	-	-
	ニ	カラオケボックス等		1	-	1
3	イ	待合・料理店等		0	-	-
	ロ	飲食店		77	42	35
4		百貨店・マーケット等		147	79	68
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの		11	4	5
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		803	479	324
6	イ	病院・診療所・助産所		62	43	19
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等		101	55	46
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等		129	85	44
	ニ	幼稚園・特別支援学校等		14	8	6
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等		23	15	8
8		図書館・博物館・美術館等		1	1	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等		0	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		7	2	5
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場		3	2	1
11		神社・寺院・教会等		23	16	7
12	イ	工場・作業場		187	115	72
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		0	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場		12	2	10
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫		0	-	-
14		倉庫		68	37	31
15		前各項に該当しない事業所		164	102	62
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物		371	220	151
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		128	71	57
16の2		地下街		0	-	-
16の3		準地下街		0	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等		2	2	-
18		延長 50 メートル以上のアーケード		0	-	-
19		市町村町長の指定する山林		0	-	-
20		総務省令で定める舟車		0	-	-
*		その他		20	11	9

危険物施設別査察実施状況



11 1 1 9 番 等 通 報

(1) 119番通報受信状況

枚方市及び寝屋川市における総受信件数は62,634件（1日平均約172件）で、これは市民約10人に1人が119番等の通報をしたことになります。

受信件数の内訳は火災通報277件（0.4%）、救急通報36,884件（58.9%）となっており両通報で全体の約59%を占めています。

医療機関の問い合わせ件数は3,804件（6.1%）で、引き続き、救急安心センターおおさか（＃7119）や大阪府救急医療情報センター（06-6693-1199）を活用し、119番通報での医療問い合わせを減らしていきたいと考えています。

また、いたずら・間違いなどの通報が5,815件（9.3%）もあり、実際の火災・救急通報の受信に支障を来すことも予想されることから、今後も、防火指導、救急講習等の広報活動を通じ「正しい119番の使用法」を啓発していく必要があります。

回線別の受信件数は固定電話（アナログ回線）の119番受信が12,590件で、IP回線の15,172件を含めると27,762件（44.3%）で約半数を占め、警察電話が2,694件、加入電話での受信が602件、その他が1,740件となっています。

携帯電話からの受信件数は25,256件（40.3%）で、他市消防本部からの携帯電話の転送を含めると26,107件（41.7%）となります。

通報受信状況

種別 内訳	総数	指令台による 119 受信							加入電話 での受信
		固定電話		携帯電話	警察電話	緊急通報	転送受信	その他	
		アナログ回線	IP回線						
総 数	62,634	12,590	15,172	25,256	2,694	3,729	851	1,740	602
火 災	277	26	52	142	27	0	13	2	15
救 急	36,884	5,873	11,332	16,281	1,590	689	676	192	251
救 助	172	13	15	62	62	2	3	3	12
そ の 他	1,273	149	169	495	198	5	6	71	180
火 災 問 合	95	8	12	47	22	0	1	1	4
救 急 問 合	481	53	75	241	90	5	8	5	4
間 違 い	3,094	518	290	1,263	44	908	27	33	11
試 験	2,262	131	92	80	0	1,842	3	112	2
悪 戯	2,721	2,221	35	457	0	2	2	3	1
医 療 問 合	3,804	285	1,166	2,322	10	8	3	8	2
転 送	600	2	18	571	0	0	8	1	0
上 記 以 外	10,971	3,311	1,916	3,295	651	268	101	1,309	120

※ 上記以外には、訓練通報や各種通報装置からの通報試験等の状況が含まれます。

(2) 緊急通報システム

緊急通報システムからの通報は3,729件（6.0%）あり、聴覚障害者及び音声言語機能障害者の方々からのネット119（登録者数78人）及びeメール119（登録者数130人）による通報は0件で、緊急FAXからの通報は2件でした。

緊急通報システムの設置件数及び通報状況

市別	種別	緊急通報システム設置件数	通報総数	出動件数
総数		4,142	1,887	691
枚方市		3,231	1,416	512
寝屋川市		911	471	179

(1) 消防隊の活動状況

平成 30 年中の消防隊等が活動した事故件数は 3,347 件、出動車両台数は 7,202 台でした。これは、1 日当りの平均災害発生件数が約 9.2 件で、1 件の災害に対して平均 2.2 台の消防車両が出動したことになります。

火災件数 185 件のうち、建物火災が 112 件と最も多く、火災出動件数の約 60.5%を占めています。

消防隊は、火災やその他の消防事故の災害現場にいち早く到着し、日頃の訓練で習得した技術や知識を十二分に発揮し、的確な消防活動を行うことにより、人命危険の排除及び被害の軽減を図っています。

消防隊の火災出動件数

火 災 件 数	火 災 出 動 件 数											
	放水別		事 後 聞 知	出 動 別					種 別			
	放	未		第 1 出 動	第 2 出 動	第 3 出 動	特 命 出 動	そ の 他 出 動	建 物	車 両	林 野	そ の 他
	水	放 水										
185	67	118	29	141	34	0	9	1	112	17	-	56

災害分類・種別活動状況

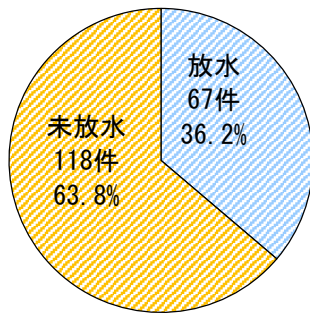
区 分	事故件数	出動台数	出動人員	活動時間
総 数	3,347	7,202	26,523	5,311:58
火 災 小 計	185	1,116	3,838	1,492:39
建物火災	112	869	3,009	1,273:56
林野火災	-	-	-	-
車両火災	17	61	201	59:27
その他の火災	56	186	628	159:16
焼 損 事 故	58	264	871	174:18
そ の 他 消 防 事 故	3,104	5,822	21,814	3,645:01

消防署別活動状況

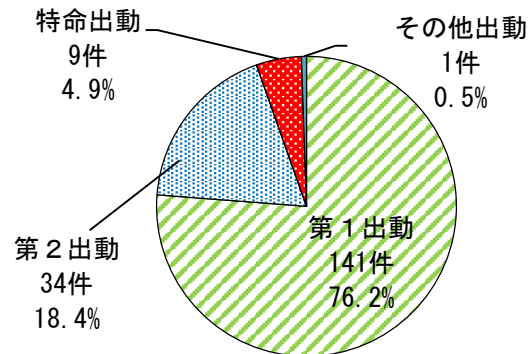
区 分	事故件数	出動台数	出動人員	活動時間
枚 方 署	1,102	2,276	8,459	1,713:52
枚 方 東 署	888	1,977	7,253	1,436:32
寝 屋 川 署	1,356	2,947	10,804	2,160:20
管 轄 外	1	2	7	1:14

- ・活動時間については、出動から現場引き揚げ迄の時間です。
- ・活動隊については、救急隊を除く数字です。

放水件数比



出動件数比



(2) 消防水利

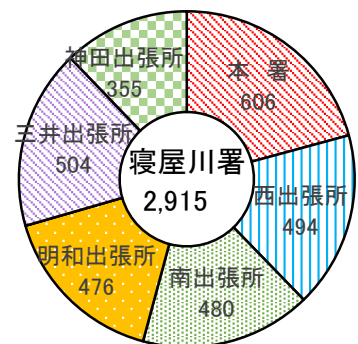
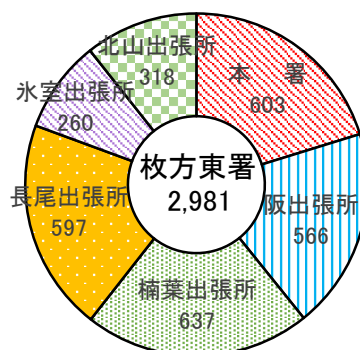
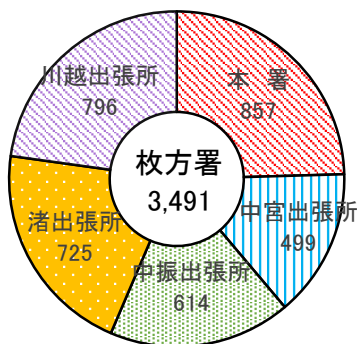
本消防組合管内の消防水利の大部分は、人工水利の消火栓(98%)が占めています。

消火栓は簡易に使用でき、連続的に給水しますが、水道配管路に設置されているため、配管口径による給水量の制約、断・減水時の使用不能等の弱点があります。これをカバーするために、開発行為の機会をとらえ、防火水槽の設置を要請するなど、消防水利の確保に努めています。

区分 署別	総 数	消火栓			防火水槽 (㎡)			その他の水利			
		小計	公設	私設	小計	公設	私設	小計	プール	河川池	その他
総 数	10,333	9,387	8,982	405	607	119	488	339	128	147	64
枚 方 署	3,824	3,491	3,340	151	238	29	209	95	47	13	35
枚 方 東 署	3,331	2,981	2,902	79	202	48	154	148	35	108	5
寝 屋 川 署	3,178	2,915	2,740	175	167	42	125	96	46	26	24

※ 防火水槽寸法（容量）が 20 ㎡未満のものは含みません。

署所別の消火栓設置状況



13 火 災 概 況

(1) 火災概況

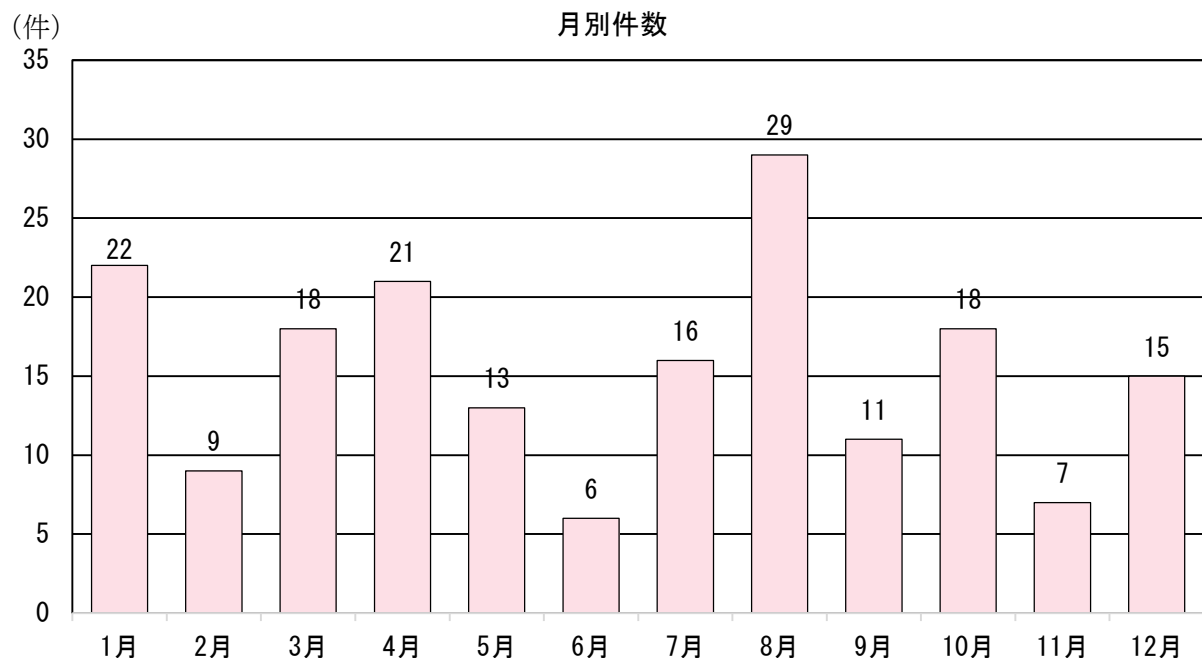
平成 30 年中における火災件数は 185 件で、前年と比べ 15 件増加しています。

市別でみますと、枚方市は 111 件（枚方署 52 件・枚方東署 59 件）で前年より 3 件（2.6%）減少し、寝屋川市は 74 件で前年より 18 件（32.1%）増加しています。

区 分 署 別	火災種別（事後聞知含む）							焼損棟数					爆 発 棟 数	り災世帯数			
	火災 件数	うち 爆発	建 物	林 野	車 両	その他		合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		合 計	全 損	半 損	小 損
						枯 草 等	そ の 他										
総 数	185	1	112	0	17	12	44	141	18	8	20	95	1	120	23	2	95
枚 方 署	52	－	27	－	7	2	16	38	8	1	5	24	－	29	8	－	21
枚 方 東 署	59	1	34	－	7	5	13	35	4	5	5	21	1	30	4	1	25
寝 屋 川 署	74	－	51	－	3	5	15	68	6	2	10	50	－	61	11	1	49

(2) 月別火災件数

出火件数を月別でみますと、最多出火月は 8 月の 29 件（15.7%）、次いで 1 月の 22 件（11.9%）、4 月の 21 件（11.4%）と続いており、最少出火月は 6 月の 6 件（3.2%）となっています。



(3) 死傷者・損害状況

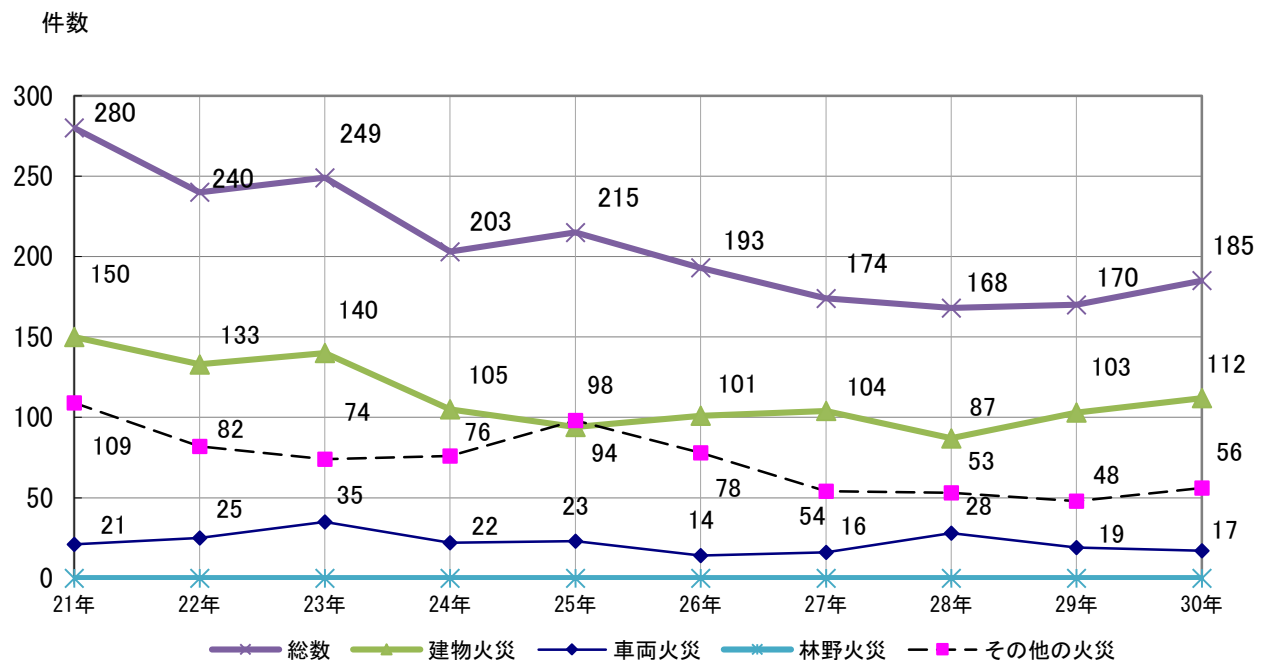
火災による死者数は、5人（枚方市2人、寝屋川市3人）で前年より3人増加となっています。
火災による負傷者数は、45人（枚方市25人、寝屋川市20人）で前年より8人（枚方市で5人減少、寝屋川市で13人増加）増加しています。

区分 署別	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 額 （千円）	焼損面積		1ヶ月当たり					
					建物床 （㎡）	林野 （a）	火災件数 （件）	建物火災件数 （件）	焼損棟数 （棟）	死者数 （人）	（㎡） 建物焼損床面積	損害額 （千円）
総 数	265	5	45	267,239	3,802	0.0	15.4	9.3	11.8	0.4	316.8	22,269.9
枚 方 署	65	1	14	95,401	847	-	4.3	2.3	3.2	0.1	70.6	7,950.1
枚 方 東 署	53	1	11	73,048	1,225	-	4.9	2.8	2.9	0.1	102.1	6,087.3
寝 屋 川 署	147	3	20	98,790	1,730	-	6.2	4.3	5.7	0.3	144.2	8,232.5

(4) 過去 10 年間の火災発生状況

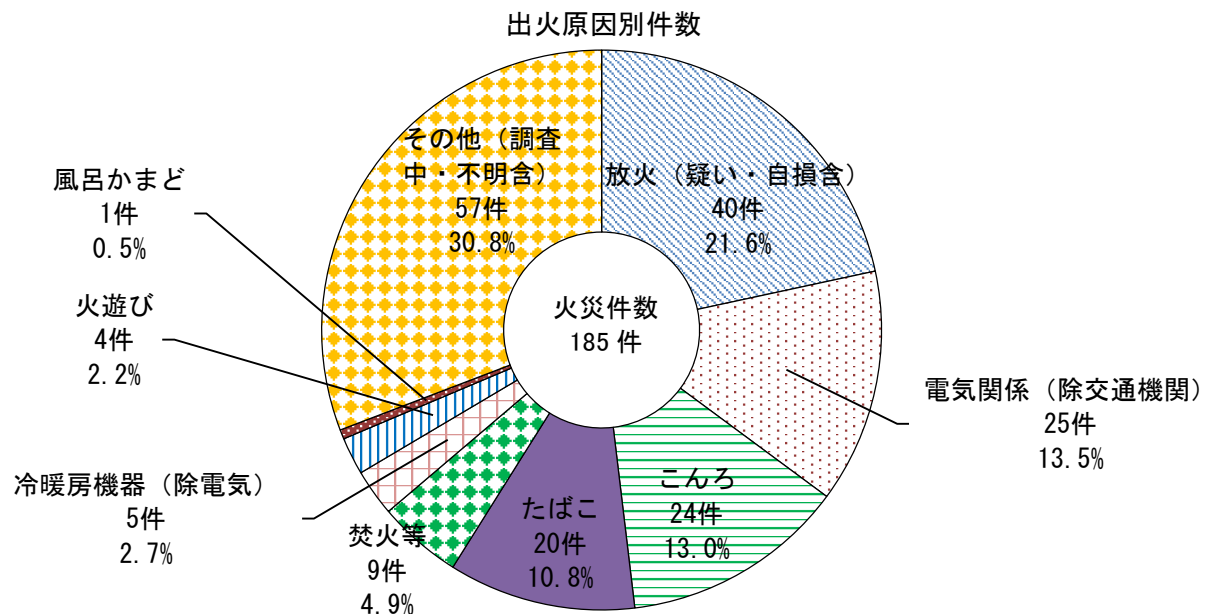
過去 10 年間の本消防組合管内における火災件数は、平成 21 年の 280 件がピークで、ここ数年減少傾向にあります。

平成 30 年の火災件数は 185 件（前年比 15 件増加）、内訳は建物火災件数 112 件（前年比 9 件増加）、車両火災 17 件（前年比 2 件減少）、その他火災 56 件（前年比 8 件増加）となっています。



(5) 出火原因

主な出火原因としては、「放火（疑含・自損含）」が40件（21.6%）、「電気関係（除交通機関）」が25件（13.5%）、「こんろ」24件（13.0%）、「たばこ」20件（10.8%）、「焚火等」9件（4.9%）の順となっています。



原 因 \ 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
総 数	280	240	249	203	215	193	174	168	170	185
放 火（疑い・自損含）	119	93	90	79	89	75	55	43	35	40
電 気 関 係（除交通機関）	18	19	18	10	15	18	17	22	27	25
た ば こ	29	26	23	22	27	17	26	18	26	20
こ ん ろ	32	24	27	22	23	20	22	16	20	24
焚 火 等	11	9	12	6	9	7	4	9	8	9
火 遊 び	12	8	14	9	11	12	3	5	4	4
冷 暖 房 機 器（除電気）	8	3	7	5	7	5	6	5	3	5
風 呂 か ま ど	3	1	-	-	2	1	-	-	1	1
その他（調査中・不明含）	48	57	58	50	32	38	41	50	46	57

※ その他には、静電気、衝突の火花、排気ダクト等が含まれます。

過去 10 年間の出動件数の推移

	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
総計	26,499	28,226	29,345	30,357	31,364	32,422	32,863	33,577	35,356	37,751
枚方市	15,982	16,880	17,492	18,080	18,688	19,193	19,669	20,159	21,105	22,513
寝屋川市	10,514	11,316	11,833	12,257	12,643	13,191	13,161	13,362	14,140	15,100
管轄外	3	30	20	20	33	38	33	56	111	138

(1) 救急件数の動向

平成 30 年中の救急出動件数は 37,751 件で、枚方市が 22,513 件、寝屋川市が 15,100 件、管轄外（第二京阪道路や交野市へのドクターカー出動）が 138 件となっています。

過去 10 年間の出動件数及び搬送人員は、平成 21 年から右肩上がりに増加しています。平成 30 年は前年比 6.7%の増加で、昨年までの増加率の平均 3.6%を大きく上回っています。

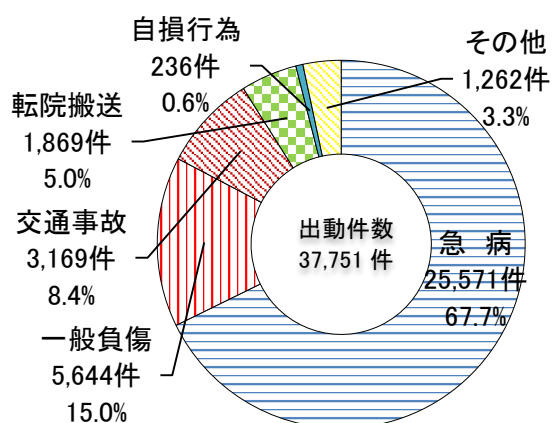
人口に対する搬送者の比率は、昭和 43 年は 100 人に 1 人でしたが、平成 30 年は 18 人に 1 人が救急車を利用したことになり、救急需要が高まっています。

(2) 救急活動状況

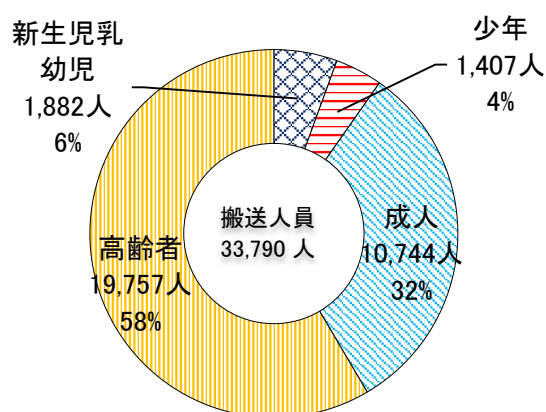
平成 30 年中の救急活動状況をみると、出動件数 37,751 件・搬送人員 33,790 人で、前年に比べ出動件数が 2,395 件（6.77%）、搬送人員が 2,003 人（6.30%）増加しました。消防組合全体では、1 日平均約 103.4 件で、1 時間に 4.3 件の割合で出動したことになり、救急隊 1 隊あたりの 1 日の出動は平均して 6.1 件でした。

救急出動件数を事故種別ごとに見ると、第 1 位が急病、第 2 位が一般負傷、第 3 位が交通事故となっています。搬送人員を年齢区分別ごとに見ると、高齢者が多く、全体の 58%を占めています。

事故種別活動状況



年齢区分別搬送人員状況



(3) 救命率の向上

平成 30 年中の枚方寝屋川消防組合応急手当の普及啓発活動に関する要綱に基づく救命講習の実施回数は 247 回で受講者数が 10,012 人、うち、普及員が実施した人数は 6,990 人でした。

普及啓発用資器材の状況は、蘇生訓練用人形の成人用、小児用、乳児用及び A E D トレーナーを常備しており、応急手当の普及に寄与しています。その他、各署に高度救急処置シミュレーター等を整備し、指導技術の向上を図っています。

救命講習会実施回数及び受講者数（署別）

区分 署別	実施回数	対象人員
総 数	247 回	10,012 人
枚方署（本部含）	129 回	7,003 人
枚 方 東 署	53 回	1,292 人
寝 屋 川 署	65 回	1,717 人

講習会別実施回数及び受講者数

区分 講習会名	平成 30 年中	
PUSH～ いのちの授業	66 回	5,871 人
普通救命講習会	52 回	1,185 人
救命入門コース	74 回	1,990 人
普及員講習会	5 回	102 人
普及員再講習会	6 回	119 人
上級救命講習会	2 回	56 人
応急手当指導員 講習会	16 回	43 人

上記のうち普及員実施分

区分 署別	実施回数	対象人員
総 数	255 回	6,990 人
枚方署（本部含）	111 回	3,217 人
枚 方 東 署	46 回	1,319 人
寝 屋 川 署	98 回	2,454 人

一般市民が救急車到着までに実施した主な応急処置数

処置別 市別	計	胸骨圧迫 心肺蘇生	止血	保温	除 細 動 (A E D)	そ の 他 ※
総 計	249	145	28	28	5	43
枚 方 市	149	94	18	7	3	27
寝 屋 川 市	100	51	10	21	2	16

※その他は、被覆、固定、人工呼吸等

(4) 「救急安心センターおおさか」

本消防組合では、大阪市の事業として平成 21 年 10 月から運用されている「救急安心センターおおさか」に平成 22 年 4 月から府下 13 消防本部とともに参画し、平成 23 年 4 からは府下全消防本部が参画しています。

	枚方市	寝屋川市
救急車の必要があったもの	123	92
医 療 相 談	3,640	2,499
応 急 手 当 指 導	-	-
医 療 機 関 問 合 せ	3,561	2,649
苦 情	-	-
誤 接	-	-
い た ず ら	-	-
そ の 他	195	126
合 計	7,519	5,366

※ その他には、各種相談や問い合わせ等が含まれます。

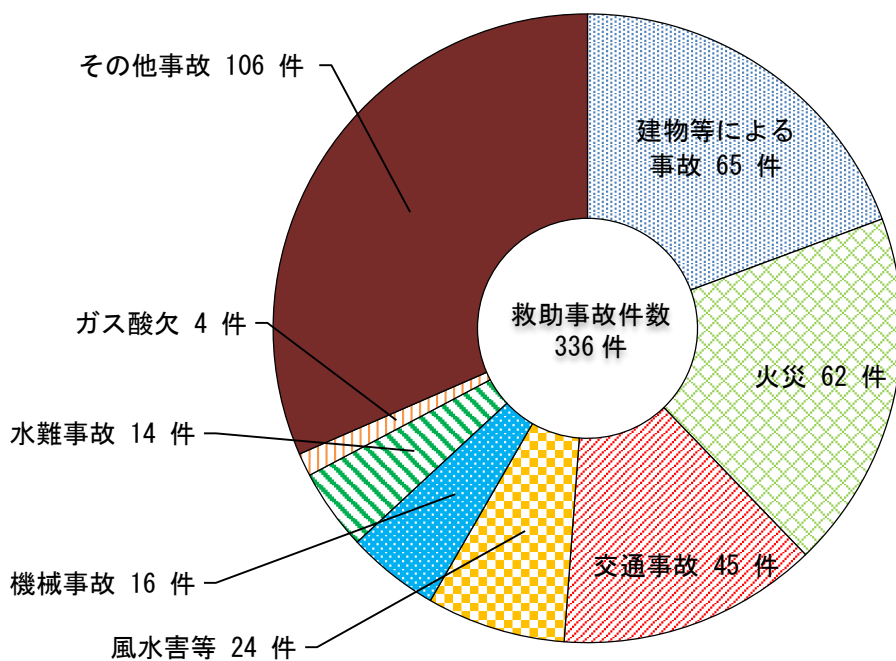
(5) ドクターカー事業

高齢化の急速な進展などにより、救急件数は増加傾向にあり、また、救急搬送で病院到着までに時間がかかる現状です。今後も高齢化が一段と進む中、救急出動件数は、更に増加することが予想されます。こうした背景に伴い、救急医療体制を一層充実させ、救命処置等を必要とする傷病者が発生した救急現場に一刻も早く医師が出場して医療行為を行うことにより、地域住民の救命率及び社会復帰率の向上並びに処置後の良好な改善を図ることを目的として、関西医科大学附属病院 高度救命救急センターと連携し、平成 29 年 4 月からドクターカーの運用を実施しています。

	枚方市	寝屋川市	管外
ドクターカー出動件数	203	137	36

平成 30 年中に救助隊が出動した事故件数は 336 件、活動件数 316 件であり、前年と比較すると事故件数は 59 件（21.2%）増加し、活動件数は 53 件（20.2%）増加しています。また、救助人員は 190 人であり、前年の 186 人に比較すると 4 人（2.2%）増加しています。

救助事故種別件数



救助人員内訳

総 数	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	負傷無し
190 人	23 人	4 人	38 人	56 人	50 人	19 人

事故種別活動状況

区 分 市 別	総 数	火 災	救 助 事 故							
			交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス	破 裂	そ の 他
総 数	336	62	45	14	24	16	65	4	-	106
枚 方 市	185	36	22	4	13	9	43	2	-	56
寝 屋 川 市	146	26	19	10	10	7	22	2	-	50
管 外	5	-	4	-	1	-	-	-	-	-

16 消 防 団 の 概 況

区 分 市別・分団別		消 防 団 員								消 防 機 械			
		総 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	総 数	ポン プ 車	小型動力ポンプ積 載車	小型動力ポン プ
総 数		844	2	9	17	16	31	82	687	83	2	74	7
枚 方 市	小 計	462	1	6	11	11	31	49	353	51	1	43	7
	本部事務局	7	1	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	枚方分団	24	-	-	1	1	3	4	15	2	1	1	-
	蹉跎分団	32	-	-	1	1	3	4	23	4	-	4	-
	川越分団	36	-	-	1	1	3	4	27	4	-	4	-
	山田分団	48	-	-	1	1	3	7	36	7	-	7	-
	殿一分団	41	-	-	1	1	3	8	28	5	-	5	-
	殿二分団	55	-	-	1	1	3	6	44	4	-	4	-
	樟葉分団	38	-	-	1	1	3	4	29	4	-	4	-
	津田分団	57	-	-	1	1	3	4	48	6	-	4	2
	菅原分団	54	-	-	1	1	3	3	46	7	-	5	2
	氷室分団	52	-	-	1	1	3	3	44	6	-	3	3
	女性分団	18	-	-	1	1	1	2	13	1	-	1	-
	寝 屋 川 市	小 計	382	1	3	6	5	0	33	334	32	1	31
団本部		17	1	3	-	-	-	1	12	0	-	-	-
第 1 南分団		54	-	-	1	1	-	6	46	6	-	6	-
第 1 北分団		57	-	-	1	1	-	6	49	6	-	6	-
第 2 分団		90	-	-	1	-	-	7	82	7	-	7	-
第 3 分団		60	-	-	1	1	-	5	53	5	-	5	-
第 4 分団		58	-	-	1	1	-	4	52	4	-	4	-
第 5 分団		46	-	-	1	1	-	4	40	4	1	3	-

あなたに安心を届けたい！

枚方寝屋川消防組合ホームページ

<http://www.hnfd119.jp/>



住宅用火災警報器普及啓発
PRキャラクター「枚寝カンチ」

枚方寝屋川消防組合では、住宅火災での逃げ遅れによる死亡を無くすため、住宅用火災警報器設置促進と維持管理の普及啓発を推進しています。

各種イベントや防火教室等に「枚寝カンチ」が参加し、住宅用火災警報器の認知度の向上や点検方法、交換時期の周知に努めています。

ひらね 1 1 9

(令和元年 刊行)

発行 枚方寝屋川消防組合消防本部

編集 総務部 総務管理課

枚方市新町 1 丁目 7 番 11 号

0 7 2 (8 5 2) 9 9 0 3
